

セルフスタンドを安全に利用するために

セルフスタンドの増加により、自分で給油する機会が増えましたが、ガソリンは「**危険物**」です。全国で、静電気による火災や、ガソリンの吹きこぼれ事故が起きています。給油の際には、次の事項に十分注意して安全な給油作業を心がけましょう。

事故事例1

車へガソリンを給油後、車のトラックに積んでいた金属製携行缶にガソリンを注油していたところ金属製携行缶の給油口付近から出火した。

事故事例2

給油を一旦中止し、給油口にノズルを挿入したままその場を離れ、同乗していた子供がノズルを外し、レバーを握ったためガソリンが噴出し跳ね返ったガソリンを浴びてしまった。



○ エンジンは必ずOFF！

指定された場所に停止し、必ずエンジンを停止しましょう。自動車から降りるときは、ドアや窓を閉めましょう。

○ 静電気除去シートにタッチ！

帯電したまま給油キャップを開けると、放電スパークして、ガソリンの可燃性蒸気に引火する事故が発生するおそれがあります。

給油の前には、静電気除去シートや車の金属部分に触れて、静電気を除去してください。

○ 燃料種類を確認！

社用車やレンタカーなど、普段使用しない車両に給油する場合は特に注意が必要です。給油ノズルには燃料種類の表示とともに、**ハイオクが「黄」、レギュラーが「赤」、軽油が「緑」**に彩色されていますので、確認したうえで給油してください。

○ 正しい操作で給油を！

給油ノズルを止まるところまで確実に差込んで、レバーを止まるところまで確実に引き、しっかり握って給油をおこないましょう。

また、給油は必ず一人でおこなってください。

※確実に差し込めてない場合や少しずつ給油した場合、オートストッパー（満タン時の自動給油停止装置）が作動しない場合があります。

○ 注ぎ足しはしない！

オートストッパーが作動し、給油が自動的に停止したら、吹きこぼれるおそれがあるので、それ以上は給油しないようにしましょう。



セルフスタンドでは、利用客がガソリンを容器に入れることはできません！

※特に、灯油用ポリ容器（20リットル）にガソリンを入れることは非常に危険ですので行わないでください。